ルナしっくい施工ガイド

◆◆◆ルナしっくいを塗る前に◆◆◆

【ルナファーザー・チップスの施工ポイント】

1　石膏ボードのジョイントにグラスファイバーテープを張って補強する。
2　石膏ボードとコンパネ（合板）との取り合いは、シワやクラックが起きやすいので、
　グラスファイバーテープを貼る前に、コンパネの部分へボンドを塗り補強する。
3　合板の下地へは、アク止めシーラー塗る。
4　糊は現役タイプをしようする。（ウォールボンド100　矢沢化学工業）
　糊は通常よりたっぷり付ける。（1.5倍程度）
5　紙は伸び縮みするので、糊付け後のオープンタイムを10～20分とる。
6　糊付け後は、必ずクロスパックに入れて、糊の乾燥を防ぐ。
7　紙のジョイントは突き付けが基本。合わせ切りは極力減らす。
　（ルナしっくいの場合は、目地を少し開け気味でもよい。カッターの薄刃厚以内）
8　合わせ切りをした所へは、石膏ボードに和紙テープを貼って目開きを防ぐ。
9　紙の耳（ジョイント）の部分を、ローラーでしっかり圧着させる。
10　入り隅は廻し貼りをせず、カットしてボンドコークを入れる。
11　枠や巾木廻りはキワでカットして、ボンドコークで押さえる。
　（紙の端がギザギザでも、ルナしっくいをかぶせるので問題ない）

【ルナファーザー・チップスと組み合わせる利点】

1　施工後のクラックを防止します。
2　安心・安全な自然素材同士の組み合わせです。
3　下地調整が容易で、左官仕上げに比べ費用を抑えられます。
4　塗りやすくムラが出ず、美し仕上がります。
5　しっくいの性能が活きた、居心地の良いお部屋をつくります。
6　キズがついても部分補修ができ、補修後も目立ちません。
7　改装の際はそのままで塗り重ねが可能、低予算で行えます。
　再塗装には、水性燃料も使用できます。
8　張り替えによる焼却ゴミを出さず、CO_2削減に貢献します。

ルナしっくい塗装方法

（ルナファーザー・チップス下地の場合）

【施工する前に】

■　ルナファーザーを貼った糊が、十分乾いているか確認する。（12時間以上あける）
■　入り隅や枠廻りに、ボンドコークを入れてあるか確認する。
■　湿度85％以上、または気温5℃以下でｍの施工は避ける。

【塗装方法】

1　ルナしっくい10kg.（1袋）に清水11リットスの割合でバケツに入れ、
　ハンドミキサーを使い10分以上かけて攪拌する。
　　◆水の中に粉を加えると混ざりやすい。水の割合を多過ぎないようにする。
　　◆塗布前日に攪拌を行い、当日使用前に再度攪拌すると、より塗りやすくなる。
　　◆塗装中も2時間毎くらいに攪拌する。
2　はじめに入り隅などローラーが届かない部分を、ラスター刷毛を使い、たたくようにして塗る
3　全体の塗装は、中毛のローラーにたっぷり付け均一に塗りのばす。
4　1回塗装後、表面が乾いてから、2回目のローラー塗装をして仕上げる。
　　◆間隔は2時間程度を目安として、季節や天候に合わせ延長する。
　　◆塗膜が薄いと下地の色が透けるので、塗り厚は0.3㎜程度にたっぷり塗る。
5　作業終了後は、風通しを良くして自然乾燥を促す。
6　残ったルナしっくいの粉は、補修用として密閉容器に入れ、冷暗所に保管する。
　（補修時に水で溶いて使用する）

施工後の注意（いずれもタッチアップで簡単に補修ができます）

※入り隅や枠廻りでは、施工後ひび割れが発生する場合があります。
※低温や雨天、また窓を閉め切ったままで乾燥が遅れると、ごくまれにチップからアクが出て、
　部分的に変色が起きる場合があります。

ルナしっくい　メンテナンス要領

■　補修が必要な場合は、状況に応じて以下要領でメンテナンスを行ってください。

軽微な汚れ	◆少しの汚れは、水を含ませたメラミンスポンジで軽くこすります。 ※白いメラミンスポンジは、家庭用の掃除用品として売っています。 垂れない程度に水を絞って、軽くこするのがコツです。
色の濃い汚れ・シミ	◆スポンジがけでシミが残ったら、ルナしっくいを乾いた布に付けて塗装します。 ◆色が濃いシミは、ルナしっくいを塗るだけでは消えませんので、 汚れをカッターやサンドペーパーで削り取ってから、部分塗装します。 ◆ごくまれに、チップ（木片）からアクが出る場合があります。 変色部分をカッターで削り取ってから、部分塗装します。 ※補修の塗装は、塗料をつけた布をたたくようにして、少しずつ 何回か塗り重ねるのがコツです。
キズ・隙間	◆キズでへこんだ場合は、ルナしっくいを上塗りして埋めます。 ◆入り隅や枠廻りに出来た隙間は、ボンドコークで塞いでから塗装します。
再塗装	◆全体的に汚れてきた場合は、そのままで塗り重ねが出来ます。 ◆再塗装は3回程度可能で、その間は壁紙を貼りかえる必要がありません。 ◆再塗装には、水性エマルジョン塗装を塗ることが出来ます。 （水性塗料は気に入った色が選べ、塗り重ねが7～8回行えます。）

※残ったルナしっくいの粉は補修用として、密閉容器に入れて保管してください。
（補修時に、必要量を水に溶いて使います）